

令和5年度 事業報告

【法人理念】『全ての人を幸せにしたい』

～尊厳保持と自立支援～

【経営方針】

経営の3要素「職員満足」「利用者満足」「経営満足」に取り組み、組んでより良い法人を目指します

【ひかり苑運営理念】

私たちは、ここで生活される高齢者の幸せな生活に貢献するために、常に熱い思いといたわりの心を持ち、お年寄りの喜びを自らの喜びと感ぜられるよう、最良・最大の介護サービスを提供します

1. 総括

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、令和5年5月に5類感染症に引き下げられましたが、高齢者施設としての感染対策を徹底し、引き続きご利用者、ご家族には外出や面会など制限のある生活をお願いして参りました。またワクチンの6回目を6月、7回目を10月にご利用者、職員を対象に接種しました。しかしながら10月16日に従来棟での発症により、感染対応期間26日、利用者21名、職員4名の感染となりました。

入居稼働率が大きく落ち込んだのは、入退去者数が例年は20名前後であるのに対して5年度は31名と増えたこと、また入院者数増加による空床を短期入所によりスムーズに埋めることができなかつたことに加え、職員不足とユニット入居希望者不足による受入れ制限が大きな要因です。

コロナ対策関連の補助金は国・県から2,088,000円、物価高騰等対策支援金を永平寺町から1,616,500円、ICT導入支援補助金を県から1,722,000円、それぞれ交付を受けました。

2. 実績報告

《1》稼働率

事業名	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度実績	介護度
介護老人福祉施設（入居）	97.4%	92.6%	85.8%	3.9
短期入所生活介護	91.9%	76.2%	76.3%	2.9
通所介護（デイサービス）	63.5%	59.1%	64.4%	2.1

《2》事業活動計算

(千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス活動収益	474,699	467,793	443,127
(従来型)	215,633	218,206	208,244
(ユニット型)	162,149	159,185	142,201
(短期入所)	40,066	33,839	33,944
(通所)	52,852	52,397	54,341
(居宅介護支援)	3,999	4,165	4,396
サービス活動費用	465,310	468,795	448,691
サービス活動外収益	2,815	2,211	1,855
サービス活動外費用	1,425	1,785	1,074
当期活動増減差額	10,789	△6,541	△12,081

* サービス活動収益は従来型で約1千万円、ユニット型で約1千7百万円の減少。

《3》主な経費

(円)

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
水道光熱費	15,044,804	23,449,785	17,817,243
修繕費	5,466,887	3,867,213	3,505,566
介護用品	4,635,875	4,486,728	4,298,665

* 主な備品購入・改修工事

◎厨房 急速冷凍機・再加熱器・温冷配膳車 4,964千円、厨房改修 935千円

◎既存棟ホールトイレ扉工事 1,139千円 ◎Wi-Fi工事 2,528千円

《4》職員採用・退職状況

		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		採用	退職	採用	退職	採用	退職
介護職	男性	—	—	1名	3名	1名	3名
	女性	6名	8名	4名	5名	7名	5名
	合計	6名	8名	5名	8名	8名	8名
看護職	男性	—	—	—	1名	—	—
	女性	2名	1名	2名	1名	—	2名
	合計	2名	1名	2名	2名	—	2名
その他	男性	1名	—	1名	2名	2名	2名
	女性	4名	6名	4名	4名	4名	2名
	合計	5名	6名	5名	6名	6名	4名
合計		13名	15名	12名	16名	14名	14名

* 派遣職員(介護)4名採用、3名退職 年度末1名在籍

＜R6年3月31日現在＞

種別	正社員	パート	種別	正社員	パート
男子	15名	5名	介護職	42名	12名
女子	48名	30名	看護師	2名	6名
計	63名	35名	相談員	4名	—
総計	98名		ケアマネ	1名	—
			その他	11名	18名
			居宅	2名	—

・外国人：正職6名
・パート区分には派遣応援を含む

《5》人件費比率

(千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス活動収益	474,699	467,793	443,127
人件費	344,261	340,217	319,108
人件費率	72.5%	72.7%	72.0%

3. 各部門別事業報告

既存 入所	毎月のケアワーカー会議をワークショップ形式で行うことにより、職員一人ひとりの観察力、視点の違いが鮮明になった。その中での統一したケアに結び付けていくこともできたが、利用者の入れ替わりの多さからの情報共有の難しさもあった。後半にかけては付箋の数も減り、リーダーから職員への発信のやり方の指導も検討した。集めた情報をファイル化し今後のケアに役立てていきたい。
ユニット 入所	「入居者の日常を大切にする」「統一されたケアができる」を目標とし、職員間で情報共有を意識して行った。皮膚トラブルがあった利用者の回復に向けてどのように対応すればよいか話し合い統一したケアが実施でき、また多動で気持ちが不安定な利用者の対応を、生活パターンに合わせたケアの提供を行うことにより安定された生活をしていただけるようになった。
看護	看護職員が2名退職したところから始まり、途中で2名退職しましたが、年度初めに計画していたマニュアル作成は年度末に完成することができた。多職種との連携は以前より改善してきたと思われ、看取りカンファレンスもできた。
栄養	全体としての目標達成度は低いが、年度後半は嗜好調査を実施出来たので、今後献立への反映を1品からでも取り入れていきたい。慢性的な人員不足であったが厨房の改修、急速冷凍器、再加熱器、温冷配膳車の導入による業務改善を実施した。

木漏れ日 ハウス	夏期、冬期に施設入所される方が多く、それに合わせてタイミングよく利用者を確保することは難しいが、登録者を維持、拡充していきたい。ADL 体操は年間を通して目標を達成できたが、個別機能訓練の参加は低調であった。
---------------------	--

居宅介護 支援	介護支援専門員の産休、異動により安定した実績を残せなかった。個人業務が主であるが、ケアマネ相互の情報共有や相談体制を整えることにより、新年度の実績拡大に備えたい。
--------------------	---

相談部	例年は年間入退所者数が 20 名前後であるが、5 年度は入所 34 名、退所 31 名と動きが多い年であった。5 年度末時点での平均在所期間は 2 年 5 ヶ月と、4 年度末時点の 2 年 10 ヶ月より 5 ヶ月短くなっている。延べ入院者数も例年と比較し多く、5 年度の空床数は 3,923 床と 4 年度の 1,876 床の 2 倍以上となった。相談員は 3 名態勢となり、業務効率化は確実に進んでいる。受け入れ先もグループ内のみならず外部機関との関係構築も進め、常に情報共有を図ることにより、空床のショート利用と速やかな入所受入れにより、次年度の目標達成を目指したい。
------------	---

総務部	以前から Wi-Fi 環境が悪く、社内 LAN の環境で介護記録を進めることが難しかったが、県の補助金を活用して環境改善を実施できた。電力の契約を価格高騰により新電力会社から北陸電力(株)に変更した。集合研修を参加の効率化の面からもアプリ型個別研修に次年度から移行する準備に入った。引き続き業務改善に向けての環境整備を職員の意見を聞きながら進めていきたい。
------------	--

4. 年間行事

4 月	入社式、新人職員研修、花まつり	10 月	日赤奉仕団様清掃奉仕 (16 名) 避難訓練 (夜間想定)、家族後援会役員会、敬老会写真撮影
5 月	家族後援会役員会・総会、避難訓練 (日中想定)、理事会	11 月	不審者対応訓練
6 月	水害避難訓練、評議員会、オカリナ演奏会、職員健康診断	12 月	除夜の鐘
7 月	流しそうめん	1 月	—
8 月	—	2 月	節分行事
9 月	—	3 月	理事会

5. キャリアアップ・研修・資格取得

介護福祉士合格 2名 (常勤者：2名)

研修名	月	研修方法	主催	受講者
ひかり MCG 新人職員研修	4月	集合	ひかりメディカルケアグループ	1名
認知症研修	5月	集合	永平寺町社会福祉協議会	3名
エンディングノートづくりを通して	6月	集合	永平寺町社会福祉協議会	1名
ユニットケア管理者研修	7月	WEB	日本ユニットケア推進センター	1名
介護施設における安全対策担当者養成研修	7月	WEB	全国老人福祉施設協議会	2名
介護支援専門員研修会	9月	集合	永平寺町社会福祉協議会	1名
防災講座	11月	集合	永平寺町防火協会	1名
福祉サービス苦情解決機能強化セミナー	11月	WEB	福井県社会福祉協議会	2名
キャリアパス管理職員研修	11月	集合	福井県社会福祉協議会	1名
就職内定応援セミナー継続研修	12月	WEB	福井県社会福祉協議会	1名

6. 実習生受け入れ状況

実習名	学校・施設名	人数	期間	実習日
職場体験	上志比中学校	4名	1日	8/7
看護学生実習	福井市医師会看護専門学校	3名	5日	9/4~9/8
		3名	5日	9/10~9/15

7. ヒヤリハット・事故・苦情

(件)

【ヒヤリハット】利用者に被害を及ぼすに至らなかったが、“ヒヤリ”とした“ハット”した事象。

内容	既存	ユニット	通所
	件数	件数	件数
転倒・転落・ずり落ち	63	23	52
外傷	12	20	0
内出血・皮膚剥離	2	0	0
誤薬・誤配	3	3	0
誤食・誤飲	12	5	1
その他	85	35	10
合計	177	86	63

【事故】極めて微小な擦過傷から死亡まで、利用者に僅かでも身体的被害等が生じた事象。

内 容	既存	ユニット	通所
	件数	件数	件数
転倒・転落・ずり落ち	41	11	5
外傷	121	39	0
内出血・皮膚剥離	73	40	0
誤薬・誤配	9	7	1
誤食・誤飲	6	5	2
その他	24	8	1
合 計	274	110	9

【苦情】

苦情を密室化せず客観性・透明性を確保し、一定のルールに沿った方法で円滑・円満な解決と信頼確保に努めた。

特養入所	1	家族との冬物衣料、夏物衣料の交換の連絡不足
短期入所	1	本人へ入浴が中止になったことの連絡不行き届き
通所介護	2	利用中に紙パンツの交換がなかった
		汚れ物衣料の中に使用済みの紙パンツが入っていた
合 計	4	

8. クラブ活動

(人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
書道	4	9	6	7	5	7	—	20	—	4	7	—	69
生花	—	10	10	11	10	5	7	11	10	17	10	10	111
合計	4	19	16	18	15	12	7	31	10	21	17	10	180

9. 地域貢献事業

(1) ひかりサロン会

感染対策を講じながら流しそうめん、茶話会等を開催しました。

(2) 高齢者お出かけ支援サービス

買い物、理美容等の外出の送迎サービスを実施しました。